チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO、192号
１１月１８日(月)

もっと成長していくために…

「今回の県大会を通し、あなたは『何か』をつかむことができましたか？心に『何か』が残っていますか？」

県大会も終わりました。さすがに、そんなに甘い世界ではありませんでした。試合後やバスで学校に戻ってきた時に話はしましたが、他にもまだみんなに言いたいことは山ほどあります。しかし、先生が全てを言わなくても、レベルの違い・自分たちの甘さ（弱さ）を身をもって体感したみんななら、自分自身でいろいろなことを感じているはずです。しかし、この時期に、こういった貴重な経験をできたことは、チームとしても個人としても、今後に向けて大きな財産となるはずですし、この経験を次に生かしていくことが、私たちのやるべきことです。そういった意味でも、本当に大切なのはこれからです。まずは県大会までの自分自身・チーム全体についてじっくりと振り返り、きちんとした目標設定をして、気持ち新たにテスト明けから練習に臨みましょう。

最後に、この大会の運営をたくさんの人が支えてくれたことを、心にとめておきましょう。家族の存在はもちろん、大会役員や審判の方たちも朝早くからたくさんの方が来てくれていました。また、プラカードを持つため・ラインズマンをやるためだけに、朝早くから一日ずっと体育館に待機していた地元の中学生の姿もありました。本当にありがたいことですし、感謝の気持ちを持ち続けましょう。

【競争⇒チームの活性化】

先日の帰りに話をしましたが、テスト明けからは『**全員が０からのスタート**』です。チーム内で今一度、『**質の高い競争**』をしましょう。そして、結果としてその競争からチームが活性化していくことを願います。

【保護者の皆さんへ】

先日は遠方までのたくさんの方の応援、また朝早くからのお弁当づくり等、ありがとうございました。結果はまさに『完敗』でしたが、子どもたちは最後まであきらめずに、堂々と戦ったと思います。ただこの時期に、よりレベルの高い世界を体感することができたということは、今後に向けてはこれほどない大きな財産となるでしょう。冬の大会、ひいては『勝負の夏（中総体）』に向けて、今回の経験・悔しさは必ず生きてくるはずです。顧問共々、今一度初心に返り、取り組んでいきたいと思います。１２月も各種大会・練習試合等、予定しております。今後とも活動へのご理解・ご協力よろしくお願いします。